２０２４年１１月１１日
北陸原子力懇談会
金沢大学

報道関係各位

放射線について知ろう！
金沢大学アイソトープ総合研究施設見学会の開催について

北陸原子力懇談会（会長：村本健一郎）と金沢大学は共催で、下記のとおり、病気を「見える化」するための画像診断薬や治療薬を研究している金沢大学アイソトープ総合研究施設の「次世代層向け見学会」を実施します。

つきましては、当日のご取材を頂きますよう宜しくお願いします。

記

１．日　　時　　２０２４年１１月１４日(木)　１３：１５～１５：５０

２．場　　所　　金沢大学　疾患モデル総合研究センター
アイソトープ総合研究施設（施設長：木村 寛之氏）
（石川県金沢市宝町１３番１号）

３．見 学 者　　北陸学院中学校１年生　３７名

４．見学内容　　別添チラシ「放射線について知ろう！」をご覧ください

５．取材に関するお願い
- 集合時間/場所は 13 時 00 分、アイソトープ総合研究施設玄関前です。
- 取材の際は各社記者章を携帯し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。
- 一時的に放射線管理区域に入るため、名簿の記入や、お渡しする線量計の携帯等入館手続きにご協力ください。
- 取材をご希望する場合は、11 月 13 日（水）15 時までに別紙「取材申込書」の内容をメールもしくは FAX で北陸原子力懇談会まで送付してください。

以　上

※北陸原子力懇談会は、次世代層を対象に原子力や放射線に関する基礎知識を深めてもらうことを目的に、セミナーや見学会を実施しています。

＜見学・取材に関する問い合わせ先＞
北陸原子力懇談会
担当：安井
電話：076-222-6523

＜施設に関する問い合わせ先＞
金沢大学疾患モデル総合研究センター
アイソトープ総合研究施設
担当：中島
電話：076-265-2471

「S+3E」の再構築

バランスのとれたエネルギーミックスを目指して

安定供給 経済性 環境保全 安全

ほく・げん・こん HOKU・GEN・KON

ほく・げん・こん 北陸原子力懇談会

〒920-0918 金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F
TEL：076(222)6523 FAX：076(222)8925

URL：https://h-genkon.jp

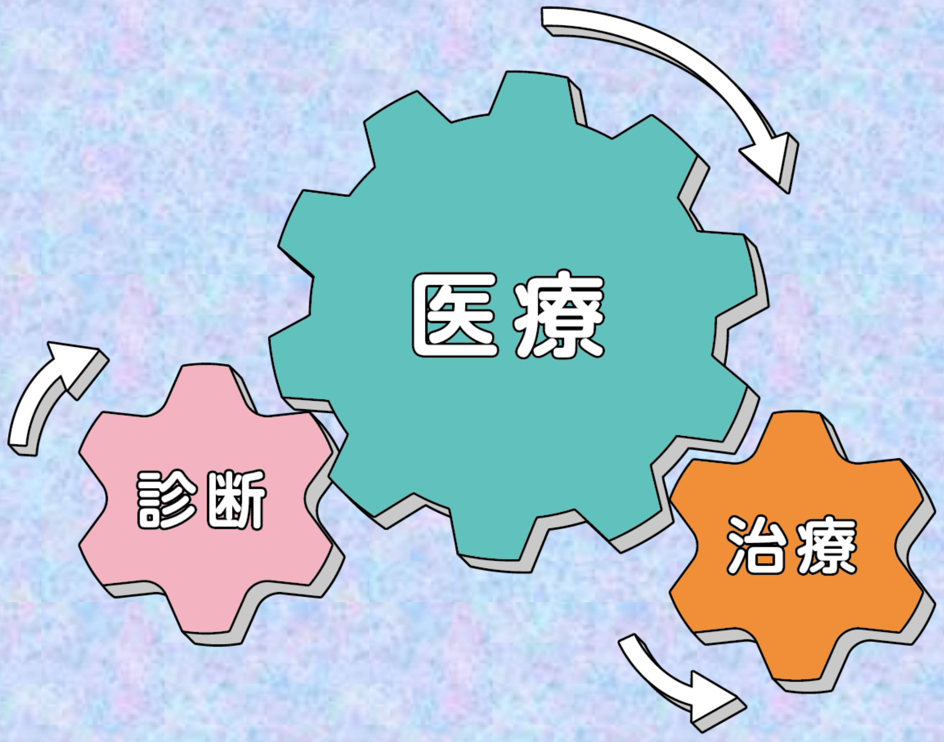
戸田式電子冷却霧箱の貸出

北陸原子力懇談会では、放射線の飛跡を見ることができる
霧箱実験キットを無料で貸出しています。宅配送料も無料です。

次世代層対象

放射線について知ろう！

金沢大学アイソトープ総合研究施設
見学会のご案内



北陸原子力懇談会

北陸原子力懇談会では、次世代層を対象に原子力や放射線に関する基礎知識を深めてもらうことを目的にセミナーや見学会を実施しています。
今回は、医療分野で役立っている放射線にフォーカスし、病気を「見える化」するための画像診断薬や治療薬を研究している国立大学法人金沢大学アイソトープ総合研究施設を見学します。

Q1. そもそもアイソトープってなに？

アイソトープとは、同じ（アイソ：iso-）位置（トープ：tope）という意味で、ギリシャ語から借用して作られた言葉です。

すべての物質を構成している原子は、原子核（陽子と中性子）と、その周りを回る電子からできています。このうち、陽子の数が同じで、中性子の個数が異なっている原子同士は、質量は異なりますが、化学的性質は同じであることから同じ元素に分類され、**元素周期表の同じ位置にある**という意味で、**「アイソトープ」**（同位体）と言い、また、その中でも**放射線の出すものを「ラジオアイソトープ」**（RI：放射性同位体）といいます。

Q2. アイソトープを何に使っているの？

ラジオアイソトープと薬品を混ぜた「放射性医薬品」を人に注射することにより、外部から見えない病気の場所や臓器の状況を「放射線」という信号で知らせてくれます。

「CT検査」「MRI検査」「超音波検査」では具合の悪い位置や大きさがわかります。
一方、ラジオアイソトープを使った検査は、「核医学検査」と言われ、**主に臓器の働き具合（機能）を調べる放射性医薬品がどこに、どのような速さで、どれだけ集まってくるか**を調べることで病気の状態がわかるため、他の検査と組み合わせることで効果的な治療ができます。

Q3. 施設見学会の内容は？

・放射線の基礎知識を学習した後、各フロアを見学し、放射線がどう役に立っているかを学習します。
・実際に見る事のできない放射線を、霧箱を通じて「飛跡」として見る事ができます。

Ⅰ．施設の概要説明（約30分）
- 放射線の基礎知識
- 研究施設のあらまし、各フロアの説明
- 放射線の利用方法
- 最新の研究

Ⅱ．施設見学（約６０分）
- 各フロアの見学
- 放射線の飛跡を見てみよう（霧箱の観察）

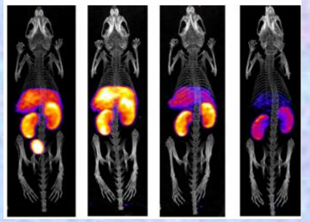
Ⅲ．終わりに
- 質疑応答
- 先生から学生への応援メッセージ

Q4. アイソトープ総合研究施設ってどんな建物なの？

設立の経緯

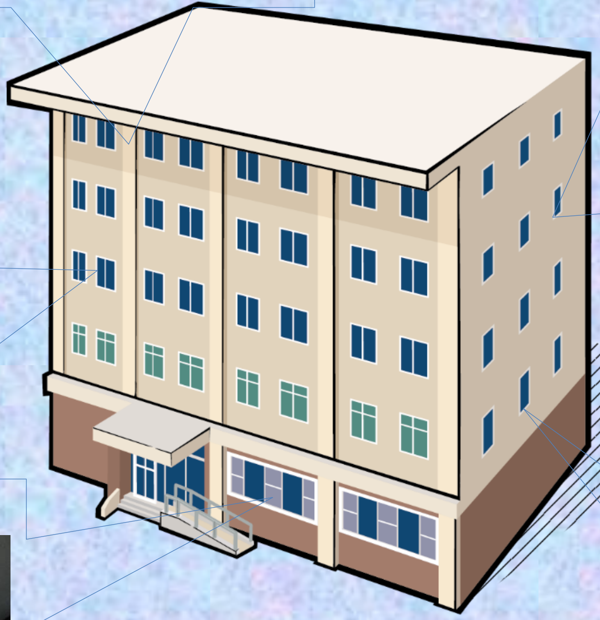
昭和 27 年	12 月	金沢大学放射性同位元素総合研究室設置 （昭和 39 年３月、丸の内団地に移転）
昭和 56 年	７月	アイソトープ総合センター新営工事竣工
	11 月	金沢大学放射性同位元素総合研究室を金沢大学アイソトープ総合センター丸の内サブセンターに改称
平成 15 年	４月	組織再編に伴いアイソトープ総合センターを学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設に改称
令和 ３年	４月	組織再編に伴い学際科学実験センター アイソトープ総合研究施設を疾患モデル総合研究センター アイソトープ総合研究施設に改称

5F　動物イメージング室



4F　標識実験等と測定

3F 標識実験等と測定、細胞培養室



1F　打合せ・会議室

2F　学生実習室

アイソトープ総合研究施設　施設長　木村先生から一言

放射線は私たちの身近に存在しており、また放射線や放射性同位体は環境・エネルギー、医療、工業、農業、ライフサイエンス研究など様々な分野で利用されています。
金沢大学の疾患モデル総合研究センター・アイソトープ総合研究施設では、主に医療への応用を目指した研究が進められています。施設見学を通じて、最先端の研究を直接体感していただければと思います。

別　紙

ＦＡＸ返信先：０７６－２２２－８９２５（北原懇　安井　行）

メール返信先　：　kensyu@h-genkon.jp

１１月１３日(水)　１５時締切

取材申込書（申込先：北陸原子力懇談会）

＜貴社名＞
＜所属・氏名＞   計　　　名
＜ご連絡先＞（複数名申込みの場合は、代表者１名分で結構です） 電　話： メール：

＜問合せ先＞　北陸原子力懇談会

担当：安井　　電話：076-222-6523

（金沢市尾山町 9-13 金沢商工会議所会館 3 階）